

平成 年 月 日

様

こころと体の健康相談の結果について

「こころの健康づくり教室」にご出席いただきありがとうございました。
参加されてみて、どのような感想や学びを得られましたでしょうか。
さて、健康の自己管理の参考にさせていただくために、本日の健康相談の結果をお知らせします。

● からだの健康について

健康

要注意 いつでもご相談ください。

要医療 早めに医療機関を受診しましょう。

【コメント】

今日の血圧値 最高血圧 ~ 最低血圧 mmHg

● こころの健康について

健康

要注意 いつでもご相談してください。

要医療 早めに医療機関を受診しましょう。

【コメント】

次回の予定は 月 日です。またお会いしましょう。

地域のひとりひとりが、ますます元気で生きいきとした生活が出来るよう、
これからも健康づくりをお手伝いしていきますのでよろしくお願いします。

岩手県久慈保健所・久慈市・山形村

(担当 電話番号)

IV. 自殺企図に関する調査

高度救命救急センターにおける自殺企図者の実態に関する研究

分担研究者 遠藤重厚・岩手医科大学医学部救急医学講座教授

研究要旨

高度救命救急センターに収容された自殺企図者125名のうち、30歳台以下の群63名と40歳台以上の群62名両群の間で比較検討を行った。30歳台以上の群は、比較的女性が多く、大量服薬の手段をとるものが多かった。診断としてはF4,F6 (ICD-10) の割合が高く、医療機関に受診歴のないものが多かった。40歳台以上の群では、男性でF3の割合が高く、典型的な中高年のうつ病の症状を呈している例が多く見られた。また、精神科以外の医療機関を受診している割合が比較的高かった。年代により自殺企図の背景や診断、受療形態が異なっていることが明らかになり、自殺予防の観点では、これらの相違を踏まえて啓発活動や介入活動を行う必要のあることが示唆された。

A. 研究目的

岩手県高度救命救急センターは岩手県盛岡地区の精神科救急医療の中核を担っており、同センターに常勤する精神科医を中心に、搬送されてくる重症の自殺企図者の治療にあっている。本研究では、同センターを受診する自殺企図者について、その背景因子を明らかにし、精神医学的な評価を行うことを目的とした。

B. 研究方法

調査対象は、平成14年4月1日から平成15年3月31日までの1年間に岩手県高度救命救急センターに収容された3,781件を母集団とし、岸らの自殺企図の基準を満たした自殺企図者125名を対象とした。対象の評価は、岩手県高度救命救急センター精神科常勤医1名と岩手医科大学神経精神科医師1名によって行った。精神症状評価は、患者が症状軽快してから、患者自身に関する問診の他に、カルテや患者家族や関係者などからの情報による患者背景を補助資料とした。患者評価は、精神症状評価尺度としてBPRS、GAS、HAM-Dを使用し、診断に際してはICD-10を使用した。結果の統計処理については、SPSS for Windows ver. 10を使用した。

C. 研究結果

対象の年代による度数分布は、19歳以下15名(男性2名、女性13名)、20-29歳24名(男性3名、女性21名)、30-39歳30名(男性9名、女性21名)、40-49歳22名(男性

11名、女性11名)、50-59歳14名(男性5名、女性9名)、60-69歳9名(男性7名、女性2名)、70歳以上15名(男性5名、女性10名)であった。30歳台以下の群は63名(50.4%)、40歳台以上の群は62名(49.6%)であった。

性別は30歳台以下の群は男性14名(22.2%)：女性49名(77.8%)、40歳台以上の群は男性30名(48.4%)：女性32名(51.6%)であり、両群の性別の割合には有意差($P=0.002$)を認めた。

年代によるICD診断内訳(F3とF4とその他)は、19歳以下はF3：1名、F4：6名、その他：8名、20-29歳はF3：3名、F4：19名、その他：3名、30-39歳はF3：7名、F4：5名、その他：12名、40-49歳はF3：8名、F4：8名、その他：6名、50-59歳はF3：11名、F4：2名、その他：3名、60-69歳はF3：3名、F4：3名、その他：3名、70歳以上はF3：11名、F4：1名、その他：3名であった。各年代でのF4の占める割合は、19歳以下：6.7%、20-29歳：12.5%、30-39歳：29.2%、40-49歳：36.4%、50-59歳：73.3%、60-69歳：33.3%、70歳以上68.8%であった。両群の間で出現頻度に有意差を認めた診断はF3($P<0.001$)、F4($P<0.006$)、F6($P<0.001$)であった。

自殺企図手段の内訳では、30歳台以下の群($N=63$)は、大量服薬が44名(69.8%)、毒物3名(4.8%)、排ガス1名(1.6%)、飛び降り3名(4.8%)、刃器・刺器10名(15.9%)、縊首1名(1.6%)、複合1名(1.6%)であった。40歳台以上の群($N=62$)は、大量服薬が

19名(30.6%)、毒物14名(22.6%)、排ガス2名(3.2%)、飛び降り3名(4.8%)、飛び込み1名(1.6%)、刃器・刺器8名(12.9%)、焼身2名(3.2%)、入水2名(3.2%)、縊首5名(8.1%)、複合6名(9.7%)であった。両群で出現頻度に有意さを認めた自殺企図手段は、大量服薬(P<0.001)、毒物(P=0.004)、複合(P=0.049)の三者であった。

自殺企図の動機に関しては、30歳台以下の群(N=63)は、家族問題11名(17.5%)、経済状況5名(7.9%)、病苦5名(7.9%)、幻覚妄想1名(1.6%)、対人関係17名(27.0%)、仕事問題6名(9.5%)、その他13名(20.6%)、複合4名(6.3%)、不明1名(1.6%)、であった。一方、40歳台以上の群(N=62)は、家族問題8名(12.9%)、経済状況9名(14.5%)、病苦14名(22.6%)、幻覚妄想9名(14.5%)、対人関係3名(4.8%)、仕事問題7名(11.3%)、その他6名(9.7%)、複合4名(6.5%)、不明2名(3.2%)であった。30歳台以下の群と40歳台以上の群の出現頻度の χ^2 検定による比較で有意差を認めた項目は、病苦(P=0.023)、幻覚妄想(P=0.008)、対人関係(P=0.001)の3項目であった。

通院先に関しては、30歳台以下の群は精神科32名(50.8%)、精神科以外2名(3.2%)、通院先なし27名(42.9%)、その他2名(3.2%)であった。一方、40歳台以上の群は、精神科19名(30.6%)、精神科以外22名(35.5%)、通院先なし18名(29.0%)、その他3名(4.8%)であった。

30歳台以下の群と40歳台以上の群ではBPRS合計点平均値(30歳台以下の群;21.7, 40歳台以上の群;23.3)やGAS平均値(30歳台以下の群;30.1, 40歳台以上の群;27.3)に有意差を認めなかった。

BPRS各項目の平均値に関しては、30歳台以下の群(N=61)では「不安」、「抑うつ気分」が2以上であった。また、40歳台以上の群(N=60)では「不安」、「抑うつ気分」、「運動減退」、「情動鈍麻」が2以上であった。両群の平均値の比較では、30歳台以下の群で「敵意」(P<0.05)が有意に高く、40歳台以下の群では、「思考解体」、「罪責感」、「疑惑」、「運動減退」、「不自然な思考内容」、「常道鈍麻」が有意に高い(P<0.05)得点であった。

D. 考察

30歳台以下の群の特徴としては、診断的に神経症性障害と人格障害の比率が40歳台以上の群に比較して高いということが挙げられる。企図手段では、大量服薬による自殺企図が多い。状態像としては、精神的

な動揺がきわめて強く、不安を主体としていた。この群の自殺企図には1)死への恐れ、と2)現実からの逃避という二つの意味が含まれている。一方、40歳台以上の群は、診断的にうつ病の割合が30歳台以下の群より高く、典型的な中高年のうつ病の症状を呈している例が多かった。自殺企図以前に精神科以外の科にかかっている場合が多く、重篤な自殺企図手段を呈している場合が多かった。身体科通院中や通院歴のないものではF3、F4の占める割合が多い。

この結果は、一般医療機関を受診している人や未受診の人のなかで、リスクの高い群を同定し、かつそれらの人々に対するケアが自殺予防にとって重要であること、また、F3に属する中高年への対策が急務であることを示すものである。

E. 結論

自殺予防にとって自殺企図者の症候学的検討が重要であることはいうまでもない。30歳台以下の青年期は、人格形成期ということもあり、ライフイベントとも関連する神経症圏内の病像を呈する場合が多い。また、大量服薬を代表とする致死性の乏しい企図手段の選択は、死への恐れと現実からの逃避という傾向を反映していることも推察される。自殺企図で精神科を初診する場合も多いことから、日ごろからストレスをどのようにマネジメントしていくか、という啓発や介入が必要と考えられる。

一方、40歳台以上の中高年群では、自殺企図手段は重篤であり、中高年の典型的うつ病症状を呈している場合が多い。うつ病の割合も青年群よりは高い。また、医療機関への受診には至っていない場合や、精神科以外の科、すなわち身体科に通院している場合も多い。中高年の自殺予防としては、典型的なうつ症状を早期に発見し、早期介入につなげていくことが重要であると考えられた。

自殺企図は年代により背景となる疾患や状態像、受療形態が異なっている。自殺予防の観点でも、これらの点を踏まえて活動を行う必要があると考えられる。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 学会発表

1) Tomomichi Endo, Kotaro Otsuka, Akio Sakai, Hideki Nakayama, Fuminori

Chida, Yuki Takaya, Masaki Maruta, Shigeatsu Endo : An Investigation of features of suicide patients in emergency psychiatric care. XVIII World Congress of World Association for Social Psychiatry, International Conference Center Kobe, Kobe, Japan, October 26th, 2004

2) Masaki Maruta, Kotaro Otsuka, Hideki Nalayama, Fuminori Chida, Tomomichi Endo, Yuki Takaya, Akio Sakai, Shigeatsu Endo : Symptomatological investigation into suicide Patients at an Advanced Emergency and Critical Care Center. XVIII World Congress of World Association for Social Psychiatry, International Conference Center Kobe, Kobe, Japan, October 26th, 2004

3) Takaya Y, Chida F, Otsuka K, Nakayama H, Endo T, Maruta M, Sakai A, Aoki, Y. : A study of suicide prevention based on suicide autopsy documentation Iwate Prefectural Police Department. XVIII World Congress of World Association for Social Psychiatry, International Conference Center Kobe, Kobe, Japan, October 25th, 2004

論文発表

1) 中山秀紀, 大塚耕太郎, 岡山明, 遠藤知方, 遠藤重厚 : 救急医療における過換気症候群の特性と精神症状評価. 日本救急医学会雑誌 15 (7) : 250-258, 2004

2) 大塚耕太郎, 酒井明夫 : 自殺予防における介入の意義. 臨床精神薬理 7:1111-1117, 2004

3) 大塚耕太郎 : 学術講演会「自殺予防におけるうつ病の早期介入の意義」講演要旨. 釜石医師会報 No. 254 (平成 16 年 10 月号), pp9-10, 2004

4) 大塚耕太郎, 酒井明夫 : うつ対策と自殺予防. ストレス科学 19 (1) : 70-77, 2004

5) 大塚耕太郎, 酒井明夫, 大野裕, 黒澤美枝, 智田文徳, 中山秀紀, 星克仁, 関合征子, 松川久美子, 稲田昌博, 橋本功, 長岡重之, 深瀬享三 : 中高年の自殺とその防止対策. 臨床精神医学 33 : 1565-1575, 2004

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

警察資料を基にした久慈地域の自殺者の特徴と介入のポイントに関する研究

分担研究者 岩手医科大学法医学講座教授 青木 康博

研究要旨

平成 14 年～16 年の自殺死亡者 1,630 人（男性 1,198 人，女性 432 人）について，岩手県警察の資料を基に性年齢などの基本属性，職業の有無，医療機関との関わりなどについて，自殺予防介入地域（久慈地域）とその他の地域とで比較した。久慈地域の男性自殺者の特徴として，40 代にピークがあり，無職者（失業中も含む）の割合が 70%近くを占め，経済生活問題を自殺の原因に挙げるものが多かった。一方，女性の特徴として 80 歳以上が約 30%を占め，死別者と離別者が多いこと，40～50 代では精神疾患を抱えるものの割合が著しく高かった。久慈地域における自殺予防を目的とした介入の対象者として，男性では 40 代を中心とした無職者（失業者），女性では 40～50 代の精神科通院中の患者と 80 代以上の単身生活者を中心に行うことが有効である可能性が示唆された。

A. 研究目的

本研究は，岩手県警察から提供を受けた自殺死亡者に関する調査結果を基に，自殺予防介入研究の研究期間中である平成 14 年から平成 16 年までの 3 年間の岩手県全体および介入地域である久慈地域の自殺死亡者の実態を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

岩手県警察の協力により得られた，平成 14 年から平成 16 年までの 3 年間に岩手県内で発見され警察が自殺者として処理した異状死体に関するデータを用いた。検死時に警察官が遺族，関係者等より聴取するなどして得られた自殺死亡者の性別，年齢，婚姻状況，家族状況，職業の有無，自殺手段，自殺企図時の飲酒の有無，生前の医療機関受診歴，自殺未遂の既往などの情報を用いた。これらの情報に関して，久慈広域医療圏（久慈市，種市町，野田村，山形村，大野村，普代村）で発見された自殺者と，

久慈地域を除いた岩手県全体の自殺者とを比較し，検討を加えた。

（倫理面への配慮）自殺死亡者の調査において故人の不利益及び危険性は発生しない。研究対象のデータは，匿名化の上個人を特定できない形で岩手県警察から提供され，また，岩手医科大学神経精神科学講座内のデータ管理室で解析を行うなど，情報が漏洩しないよう体制を整備した。また，研究結果は集計したデータを公表し，個人を特定できるような形式でデータを公表することはない。

C. 研究結果

平成 14 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日までに岩手県内で発見され岩手県警察が検案した自殺死亡者数は合計 1,630 人（男性 1,198 人，女性 432 人）で，そのうち久慈地域の自殺死亡者数は合計 96 名（男性 67 名，女性 29 名）であった。各年の自殺死亡者数を表 1 に示す。岩手県全体では平成 15 年の自殺者

数が 574 人と最も多く、以下平成 14 年、平成 16 年の順で少なくなっていた。一方、久慈地域では、平成 16 年の自殺者数が 36 人と最も多く、以下平成 14 年、平成 15 年と岩手県全体の傾向とは異なっていた。

表1. 岩手県全体および久慈地域における各年の男女別自殺者数

	久慈地域			岩手県全体		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
平成14年	22	10	32	387	144	531
平成15年	20	8	28	422	152	574
平成16年	25	11	36	389	136	525
合計	67	29	96	1198	432	1630

久慈地域と久慈地域を除いた岩手県全体の自殺者の晴年齢階級別自殺者数を表 2、図 1、図 2 に示す。久慈地域の男性の自殺死亡者は、40 代で最も多く (29.9%)、続いて 60 代 (22.4%)、50 代 (19.4%) の順であったのに対し、岩手県のその他の地域の自殺死亡者は、50 代 (25.3%) が最も多く、続いて 40 代 (19.4%)、60 代 (15.8%) となっていた。一方久慈地域の女性の自殺死亡者は、80 代以上で最も多く (31.0%)、続いて 60 代 (24.1%)、50 代 (17.2%) となっていたのに対し、岩手県のその他の地域の自殺死亡者は 70 代で最も多く (23.3%)、続いて 60 代 (22.1%)、80 代以上 (21.8%) となっていた。

表2. 久慈地域・岩手県その他の地域の晴年齢階級別自殺者数

	久慈地域			岩手県その他の地域		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
20歳未満	0	0	0	11	4	15
				(1.0)	(1.0)	(1.0)
20代	3	0	3	80	27	107
	(4.5)		(3.1)	(7.1)	(6.7)	(7.0)
30代	2	0	2	165	17	182
	(3.0)		(2.1)	(14.6)	(4.2)	(11.9)
40代	20	3	23	219	30	249
	(29.9)	(10.3)	(24.0)	(19.4)	(7.4)	(16.2)
50代	13	5	18	286	53	339
	(19.4)	(17.2)	(18.8)	(25.3)	(13.2)	(22.1)
60代	15	7	22	179	89	268
	(22.4)	(24.1)	(22.9)	(15.8)	(22.1)	(17.5)
70代	8	5	13	131	94	225
	(11.9)	(17.2)	(13.5)	(11.6)	(23.3)	(14.7)
80代~	6	9	15	53	88	141
	(9.0)	(31.0)	(15.6)	(4.7)	(21.8)	(9.2)
不明				7	1	8
				(0.6)	(0.2)	(0.5)
合計	67	29	96	1131	403	1534
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

()は%

図1. 久慈地域・その他の地域の年齢階級別自殺者数(男性)

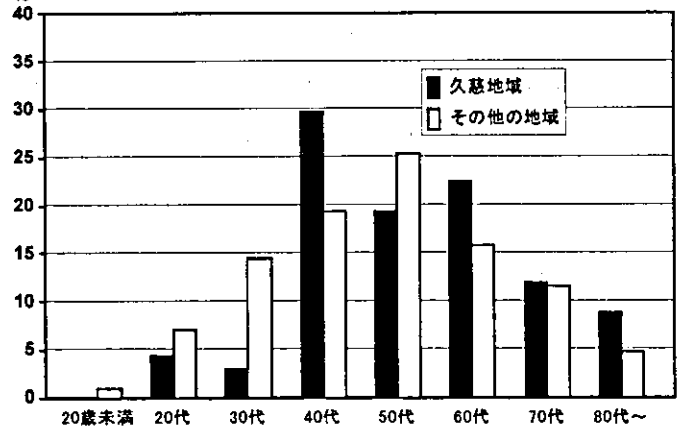
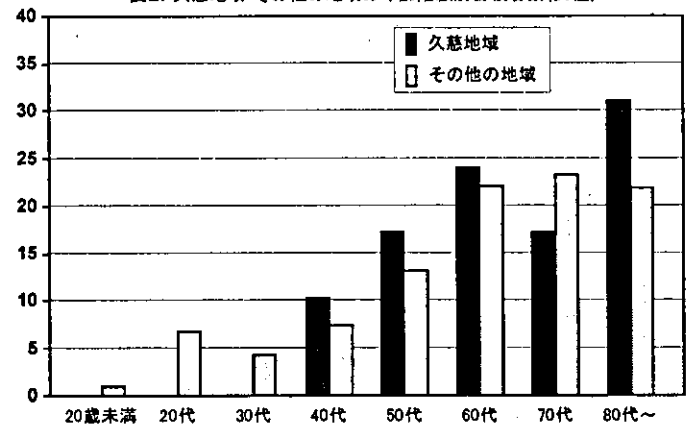


図2. 久慈地域・その他の地域の年齢階級別自殺者数(女性)



次に、自殺死亡者の婚姻状況、同居者の有無、職業の有無、生前の医療機関への通院状況、自殺企図歴の有無、自殺の前兆の有無、自殺企図時の飲酒の有無、遺書を残した場合その動機などについて、久慈地域とその他の地域における男女毎の人数を表 3 に示す。

婚姻状況では、久慈地域の男性で既婚者の割合がその他の地域に比べて高く (41 名; 61.2%)、未婚者 (17 名; 25.4%) と死別者 (3 人; 4.5%) の割合が低かった。一方女性で死別者 (13 人; 44.8%) と離別者 (4 人; 13.8%) の割合がその他の地域に比べて高く、既婚者の割合が低かった (9 人; 31.0%)。同居者の有無では、久慈地域の男性で単身者の割合が低かったが (7 人; 10.4%)、女性で単身者の割合は逆に高くなって (8 人; 27.6%)。職業の有無では、

久慈地域の男女共に無職者の割合が高くなっていた(男性45人;67.2%,女性25人;86.2%)。医療機関への受診状況では,久慈地域の男性で精神科以外の医療機関への受診者割合がその他の地域と比べて高くなっていた(31人;46.3%)。女性では精神科へ受診していた者の割合が高くなっていた(12人;41.4%)。過去の自殺企図歴では,男性ではその他の地域と同じく自殺企図歴のある者の割合が低かったが,女性では自殺企図歴のある者の割合がその他の地域に比べて高くなっていた(6人;20.7%)。自殺の前兆の有無では,男性ではその他の地域と同じく前兆があった者の割合が高かった。女性では前兆があった者の割合が高く(24人;82.8%)前兆のない者の割合が低くなっていた(3人;10.3%)。自殺企図時の飲酒の有無では,久慈地域の男女共に飲酒していた者の割合が高かった(男性16人;23.9%,女性3人;10.3%)。自殺の動機としては,久慈地域の男性で経済生活問題をあげた者の割合が高かった(30人;44.8%)。女性では健康(10人;34.5%)と精神疾患治療中の者(10人;34.5%)の割合が高くなっていた。

表3 久慈地域とその他の地域の自殺者の比較

	久慈地域			岩手県その他の地域		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
婚姻状況						
既婚	41 (61.2)	9 (31.0)	50 (52.1)	606 (53.7)	179 (44.4)	785 (51.2)
未婚	17 (25.4)	3 (10.3)	20 (20.8)	325 (28.8)	51 (12.7)	376 (24.5)
離別	6 (9.0)	4 (13.8)	10 (10.4)	106 (9.4)	18 (4.5)	124 (8.1)
死別	3 (4.5)	13 (44.8)	16 (16.7)	80 (7.1)	150 (37.2)	230 (15.0)
不明その他	0	0	0	12 (1.1)	5 (1.2)	17 (1.1)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1129 (100.0)	403 (100.0)	1532 (100.0)
同居者の有無						
同居者あり	60 (89.6)	21 (72.4)	81 (84.4)	915 (80.9)	361 (89.6)	1276 (83.2)
単身生活者	7 (10.4)	8 (27.6)	15 (15.6)	206 (18.2)	39 (9.7)	245 (16.0)
不明	0	0	0	10 (0.9)	3 (0.7)	13 (0.8)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1131 (100.0)	403 (100.0)	1534 (100.0)
職業の有無						
有職	22 (32.8)	4 (13.8)	26 (27.1)	532 (47.0)	74 (18.4)	606 (39.5)
無職	45 (67.2)	25 (86.2)	70 (72.9)	592 (52.3)	328 (81.4)	920 (60.0)
不明	0	0	0	7 (0.6)	1 (0.2)	8 (0.5)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1131 (100.0)	403 (100.0)	1534 (100.0)

	久慈地域			岩手県その他の地域		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
医療機関通院状況						
精神科以外	31 (46.3)	14 (48.3)	45 (46.9)	443 (39.2)	197 (48.9)	640 (41.7)
精神科	10 (14.9)	12 (41.4)	22 (22.9)	217 (19.2)	153 (38.0)	370 (24.1)
通院なし	24 (35.8)	3 (10.3)	27 (28.1)	428 (37.8)	50 (12.4)	478 (31.2)
不明その他	2 (3.0)	0	2 (2.1)	43 (3.8)	3 (0.7)	46 (3.0)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1131 (100.0)	403 (100.0)	1534 (100.0)
自殺企図歴の有無						
企図歴あり	6 (9.0)	6 (20.7)	12 (12.5)	120 (10.6)	57 (14.1)	177 (11.5)
企図歴なし	58 (86.6)	21 (72.4)	79 (82.3)	956 (84.6)	338 (83.9)	1294 (84.4)
不明その他	3 (4.5)	2 (6.9)	5 (5.2)	54 (4.8)	8 (2.0)	62 (4.0)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1130 (100.0)	403 (100.0)	1533 (100.0)
自殺の前兆の有無						
有	45 (67.2)	24 (82.8)	69 (71.9)	742 (65.6)	302 (74.9)	1044 (68.1)
無	18 (26.9)	3 (10.3)	21 (21.9)	319 (28.2)	89 (22.1)	408 (26.6)
不明その他	4 (6.0)	2 (6.9)	6 (6.3)	69 (6.1)	12 (3.0)	81 (5.3)
11	0	0	0	1 (0.1)	0 (0.1)	1 (0.1)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1131 (100.0)	403 (100.0)	1534 (100.0)
自殺企図時の飲酒の有無						
有	16 (23.9)	3 (10.3)	19 (19.8)	179 (15.8)	19 (4.7)	198 (12.9)
無	43 (64.2)	28 (89.7)	69 (71.9)	814 (72.0)	376 (93.3)	1190 (77.6)
不明その他	8 (11.9)	0	8 (8.3)	138 (12.2)	8 (2.0)	146 (9.5)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1131 (100.0)	403 (100.0)	1534 (100.0)
自殺の動機						
家庭	2 (3.0)	2 (6.9)	4 (4.2)	79 (7.0)	30 (7.4)	109 (7.1)
健康	21 (31.3)	10 (34.5)	31 (32.3)	243 (21.5)	136 (33.7)	379 (24.7)
経済生活	30 (44.8)	6 (20.7)	36 (37.5)	495 (43.8)	60 (14.9)	555 (36.2)
勤務	2 (3.0)	0	2 (2.1)	61 (5.4)	3 (0.7)	64 (4.2)
男女	1 (1.5)	0	1 (1.0)	18 (1.6)	6 (1.5)	24 (1.6)
学校	0 (0.0)	0	0 (0.0)	7 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.5)
その他	3 (4.5)	0	3 (3.1)	27 (2.4)	4 (1.0)	31 (2.0)
不明	0 (0.0)	0	0 (0.0)	21 (1.9)	4 (1.0)	25 (1.6)
精神疾患治療中	7 (10.4)	10 (34.5)	17 (17.7)	152 (13.4)	132 (32.8)	284 (18.5)
精神疾患が疑われた	1 (1.5)	1 (3.4)	2 (2.1)	28 (2.5)	28 (6.9)	56 (3.7)
合計	67 (100.0)	29 (100.0)	96 (100.0)	1131 (100.0)	403 (100.0)	1534 (100.0)

※最も強いと思われる動機を1つ選んでいる

D. 考察

久慈地域の自殺者をその他の地域と比較した結果,男女それぞれ以下のような特徴が認められた。

(1)久慈地域の男性自殺者の特徴

- ・半数以上が 40 代と 60 代
- ・約 60%が既婚者
- ・約 70%が無職（失業中も含む）
- ・約 50%が精神科以外の医療機関に通院
- ・半数が経済生活問題を原因に自殺 など

これらの特徴は、以前から指摘されている日本全体の男性自殺者の特徴とほぼ一致している。しかし、久慈地域の自殺者の年齢のピークは 40 代と他の地域に比べて若く、この地域の特殊性が伺える。久慈地域は岩手県内で最も失業率が高く（岩手県完全失業率 4.0〔2000 年〕、久慈地域同 5.5〔同〕）、自殺者に占める無職者（失業者も含む）の割合も他の地域と比べて高いことから、経済的な要因が久慈地域ではより大きな意味を持っていることが示唆された。

(2)久慈地域の女性自殺者の特徴

- ・約 30%が 80 歳以上で、30 代以下がない
- ・死別者と離別者で 60%弱を占めた
- ・約 40%が精神科へ通院
- ・45%が精神疾患を自殺の原因としていた

岩手県の女性の自殺者の特徴として、以前から高齢者が多いことが指摘されている。久慈地域では、80 代以上のさらに高齢な女性の自殺が多いことが明らかとなった。高齢女性の自殺者について他の地域と比較すると、配偶者と死別あるいは離別したものの割合が高くなっていった。しかし、高齢女性と精神疾患との関わりは薄く、逆に 50 代以下の女性において精神疾患が特に強く影響していることが明らかとなった（50 代以下の女性の 87.5%が精神科へ通院）。

E. 結論

久慈地域における自殺予防を目的とした介入の対象者として、男性では 40 代を中心とした無職者（失業者）、女性では 40～50 代の精神科通院中の患者と 80 代以上の単身生活者を中

心に行うことが必要である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

V. 研究成果の刊行物に関する一覧

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
酒井明夫	自己破壊の史的考察	日社精医誌	12巻	41-30	2003
岡山明, 野原勝, 黒澤美枝, 西信雄, 酒井明夫	自殺予防の疫学	日社精医誌	12巻	34-40	2003
遠藤重厚	精神科救急の現状について	日社精医誌	12巻	199-201	2003
大塚耕太郎ほか	久慈地域における自殺予防の取り組みについて: 「自殺多発地域における中高年の自殺予防を目的とした地域と医療機関の連携による大規模研究」(こころの健康科学研究事業)	久慈病院年報「北リアスの汐 (A Tide of the North Rias Coast) 」	平成14年度(第8号)	95-101	2003
野原勝, 小野田敏行, 岡山明	自殺の地域集積とその要因に関する研究	厚生の指標	50巻・6号	17-23	2003
北畠顕浩, 青木慎一郎, 酒井明夫, 大塚耕太郎, 智田文徳, 岡山明, 西信雄, 黒澤美枝	岩手県における自殺とうつ病への取り組み	精神科	3巻・5号	415-421	2003
Chida F, Okayama A, Nishi N, Sakai A	Factor analysis of Zung Scale Scores in a Japanese population	Psychiatry and Clinical Neuroscience	58巻4号	420-426	2004
黒澤美枝, 西信雄, 野原勝, 大塚耕太郎, 酒井明夫, 岡山明	医療従事者のうつ病患者への対応に関連した知識・意識について-自殺多発地域における地域介入研究より-	日本医師会雑誌	131巻・11号	1791-1797	2004
黒澤美枝, 坂田清美, 板井一好, 小野田敏行, 小栗重統, 酒井明夫, 西信雄, 岡山明	住民を対象としたうつ病教育の実際	岩手公衆衛生学会誌	16巻・2号	34-45	2004
大塚耕太郎, 酒井明夫	自殺予防における介入の意義	臨床精神薬理	7巻・7号	1111-1117	2004

大塚耕太郎, 酒井明夫, 大野裕, 黒澤美枝, 智田文徳, 中山秀紀, 星克仁, 関合征子, 松川久美子, 稲田昌博, 橋本功, 長岡重之, 深瀬亨三	中高年の自殺とその防止対策	臨床精神医学	33巻・12号	1565-1575	2004
大塚耕太郎, 酒井明夫	うつ病と自殺予防	ストレス科学	19巻1号	70-77	2004
智田文徳, 酒井明夫, 高谷友希, 青木康博	地域と医療機関の連携による自殺予防活動	最新精神医学	9巻4号	301-310	2004
智田文徳, 酒井明夫, 高谷友希, 青木康博	自殺予防活動におけるプライマリ・ケアの役割	Pharma Medica	22巻8号	15-18	2004
Nishi N, Kurosawa M, Okuyama A, et.al	Knowledge of and Attitudes toward Suicide and Depression among Japanese in Municipalities with High Suicide Rates	Journal of Epidemiology	Vol. 15, 2	48-55	2005
黒澤美枝, 坂井一好, 酒井明夫, 西信雄, 岡山明	住民対象うつ病教育の効果的手法の検討～自殺多発地域における中高年を対象とした地域介入研究より～	?			
松川久美子, 小本和恵, 中島あや子, 稲田昌博, 橋本功, 黒澤美枝	自殺予防をめざしたメンタルヘルスサポートネットワークショップ修業について	?			
千葉俊美, 折居正之, 久多良徳彦, 佐藤正樹, 照井虎彦, 我孫子幸人, 塚原光典, 斉藤慎二, 柴田将, 千島雷太, 猪俣正秋, 鈴木一幸	潰瘍性大腸炎経過中につづ症状を呈した一例	消化器心身医学	9巻1号	81-86	2002
千葉俊美, 久多良徳彦, 佐藤正樹, 安藤達也, 猪俣正秋, 折居正之, 鈴木一幸	過敏性腸症候群のQOLおよびHigh Sensitive CRPの意義	消化器科	36巻・5号	452-458	2003
千葉俊美, 久多良徳彦, 安藤達也, 春日井聡, 金沢康之, 篠崎博志, 高木亮, 徳永ゆみ, 猪俣正秋, 折居正之, 鈴木一幸	過敏性腸症候群患者の大腸経過時間	日本大腸検査学会雑誌	21巻・1号	30-34	2004

VI. 資 料

健康づくりに基礎調査報告書

平成17年3月24日

岩手県久慈保健所
久慈市
種野市
野山田形
大野形野代
普代
(社)久慈医師会
(社)古宮医師会
岩手医科大学医学部
衛生学公衆衛生学講座
神経精神科学講座

1. はじめに

岩手県は秋田県や青森県、新潟県とならび自殺率が高い県として知られている。さらに岩手県内でも、特に県北地区の二戸地区と久慈地区で高い自殺率を認めており、地域保健に限りなく大きな社会問題となっている。

われわれは、久慈保健所、岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座を中心として、平成12年度より久慈地区において自殺多発の要因の解析と予防に関する研究を実施してきた。さらに平成14年度からは岩手医科大学神経精神科学講座を中心として、厚生労働省科学研究費補助金による自殺予防を目的とした地域介入研究を実施してきた。

本報告書は、久慈地域の住民を対象に実施した「健康づくり基礎調査」のアンケート結果を、介入前後で比較して集計したものである。

2. 調査の概要

岩手県で自殺死亡率が最も高い久慈地域の6市町村（久慈市、種市町、山形村、大野村、普代村および野田村）の住民（人口71,000人）を調査対象とした。一方、比較対照地域として宮古地域の3町村（岩泉町、新里村および田老町）の住民（人口24,000人）を調査対象とした。各市町村の20歳以上79歳以下（平成14年1月時点）の住民から各市町村の人口規模に応じて、約100名から約1,800名まで（合計7,400名）を無作為に抽出し、記名式による心の健康と自殺に関する意識調査と、SDS（自記式抑うつ評価尺度）を用いた調査を行った。調査は、自殺予防介入事業前の平成14年1月から3月と、介入後の平成16年5月から7月にかけて実施した。

同時にそれぞれの地域の基幹病院と一般開業医、精神病院の医療従事者（医師、看護師）約1,000名を対象に、心の健康とうつ病に関する意識調査を行った。調査時期は介入前の平成14年5月から6月と介入後の平成16年5月から7月にかけて実施した。

3. 住民を対象とした意識調査の対象者数、対象除外者数、回答率（表1）

4. 住民を対象とした意識調査の結果（表2）

5. 医療従事者を対象とした意識調査の対象者数、対象除外者数、回答率（表3）

6. 医療従事者を対象とした意識調査の結果（表4）

表1 住民を対象とした意識調査の対象者数, 対象除外者数, 回答率

表 1

	対象者合計			久慈地区合計			宮古地区合計		
				久慈地区			宮古地区		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
① 2002年調査対象者	3535	3782	7317	1823	1940	3763	1712	1842	3554
② 2002年回答者数	2737	3097	5834	1350	1529	2879	1387	1568	2955
③ 2002年回答率*	77.4%	81.9%	79.7%	74.1%	78.8%	76.5%	81.0%	85.1%	83.1%
④ 2004年調査対象除外者数 [§]	175	206	381	84	93	177	91	113	204
⑤ 2004年調査対象者数 [†]	2562	2891	5453	1266	1436	2702	1296	1455	2751
⑥ 2004年回答者数	2084	2384	4468	1021	1141	2162	1063	1243	2306
⑦ 2004年回答率 [‡]	81.3%	82.5%	81.9%	80.6%	79.5%	80.0%	82.0%	85.4%	83.8%
⑧ 最終回答率 [¶]	59.0%	63.0%	61.1%	56.0%	58.8%	57.5%	62.1%	67.5%	64.9%

久慈地区

	種市町			大野村			普代村			久慈市			山形村			野田村		
				大野村			普代村			久慈市			山形村			野田村		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
①	425	450	875	424	405	829	45	39	84	509	615	1124	382	372	754	38	59	97
②	318	371	689	290	277	567	38	33	71	383	491	874	286	305	591	35	52	87
③	74.8%	82.4%	78.7%	68.4%	68.4%	68.4%	84.4%	84.6%	84.5%	75.2%	79.8%	77.8%	74.9%	82.0%	78.4%	92.1%	88.1%	89.7%
④	22	16	38	22	26	48	1	0	1	20	34	54	18	17	35	1	0	1
⑤	296	355	651	268	251	519	37	33	70	363	457	820	268	288	556	34	52	86
⑥	232	282	514	221	199	420	29	30	59	290	352	642	218	234	452	31	44	75
⑦	78.4%	79.4%	79.0%	82.5%	79.3%	80.9%	78.4%	90.9%	84.3%	79.9%	77.0%	78.3%	81.3%	81.3%	81.3%	91.2%	84.6%	87.2%
⑧	54.6%	62.7%	58.7%	52.1%	49.1%	50.7%	64.4%	76.9%	70.2%	57.0%	57.2%	57.1%	57.1%	62.9%	59.9%	81.6%	74.6%	77.3%

* 2002年アンケート対象者数のうち、回答したものの割合

§ 2004年アンケート発送時に死亡、転居、出稼ぎ、入院・入所などの理由で対象から除外された人数

† 2002年アンケートに回答した人数のうち、対象除外者数を除いた人数

‡ 2004年アンケート対象者数のうち、回答したものの割合

¶ 2002年アンケート対象者数のうち2004年アンケートに回答したものの割合

表2 住民を対象とした意識調査の結果

住民データ

説明	対象者合計		高五地区合計		久慈地区合計		岩手町		新里村		田老町	
	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)

※以下、それぞれの系列のうち左の列は2002年データ、右の列(太字)は2004年データを載している。

例: 2002年の調査での対象者合計(男性)

Q001 現在定期的に従事している仕事はありますか	2151 (79.1)	1568 (58.9)	1478 (79.1)	790 (58.3)	802 (74.5)	748 (60.4)	730 (59.6)	564 (73.2)	387 (57.0)	433 (57.1)	343 (57.1)	205 (61.7)	270 (60.4)	198 (76.4)	237 (60.2)	200 (65.4)
ある	568 (20.9)	512 (18.7)	1255 (41.1)	898 (37.8)	288 (20.9)	270 (39.6)	407 (35.8)	146 (20.6)	145 (26.8)	258 (43.0)	258 (42.9)	127 (38.3)	66 (19.6)	61 (23.6)	51 (39.8)	106 (34.6)
ない	2719 (100.0)	2080 (100.0)	3056 (100.0)	2376 (100.0)	1378 (100.0)	1239 (100.0)	1508 (100.0)	710 (100.0)	542 (100.0)	759 (100.0)	601 (100.0)	332 (100.0)	336 (100.0)	259 (100.0)	384 (100.0)	306 (100.0)
合計	372 (17.4)	347 (22.1)	451 (32.6)	482 (32.6)	207 (19.2)	254 (34.0)	212 (31.2)	124 (22.2)	107 (27.0)	133 (31.0)	139 (40.6)	71 (34.6)	27 (10.2)	32 (16.2)	43 (18.3)	44 (22.0)
農業	150 (7.0)	114 (7.3)	53 (3.0)	42 (2.8)	84 (7.8)	30 (4.0)	16 (1.8)	17 (3.0)	17 (4.3)	9 (2.1)	9 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
漁業	256 (12.0)	204 (13.0)	333 (18.7)	274 (18.6)	124 (11.5)	122 (16.3)	110 (20.3)	75 (13.4)	52 (17.7)	76 (16.1)	55 (16.1)	33 (16.1)	28 (10.5)	22 (11.1)	40 (17.0)	34 (17.0)
サービス業	75 (3.5)	62 (4.0)	177 (9.9)	135 (9.1)	38 (3.3)	89 (9.5)	88 (9.9)	22 (3.9)	19 (4.8)	38 (8.9)	33 (9.6)	4 (2.2)	11 (4.0)	7 (2.9)	21 (8.5)	21 (8.5)
事務職	241 (11.3)	148 (9.4)	118 (6.6)	71 (4.8)	125 (9.1)	38 (5.1)	53 (9.5)	63 (11.3)	34 (8.6)	27 (6.3)	27 (7.8)	17 (5.0)	12 (4.3)	19 (7.2)	21 (8.9)	13 (6.5)
公務員	651 (30.5)	447 (28.5)	254 (93.4)	193 (89.9)	284 (20.9)	117 (9.5)	137 (9.8)	137 (20.6)	95 (26.8)	48 (11.2)	48 (14.4)	63 (18.8)	34 (12.4)	57 (21.4)	26 (11.1)	29 (14.5)
製造加工・土木建築	387 (18.2)	246 (15.7)	398 (22.3)	250 (19.0)	220 (16.0)	137 (18.3)	204 (22.9)	120 (21.5)	73 (18.4)	98 (22.8)	61 (17.8)	38 (10.8)	49 (18.5)	29 (11.3)	48 (19.0)	38 (19.0)
その他	2132 (100.0)	1568 (100.0)	1784 (100.0)	1477 (100.0)	1080 (100.0)	747 (100.0)	891 (100.0)	558 (100.0)	397 (100.0)	429 (100.0)	342 (100.0)	205 (100.0)	266 (100.0)	198 (100.0)	235 (100.0)	200 (100.0)
合計	238 (8.7)	138 (6.6)	241 (10.1)	241 (10.1)	114 (8.3)	127 (10.2)	146 (10.0)	66 (9.3)	42 (7.8)	89 (11.7)	65 (10.8)	37 (9.3)	27 (8.0)	13 (5.0)	26 (10.5)	25 (12.5)
Q002 一緒に暮らしている家族はあなたをまとめて何人ですか	2466 (91.3)	1943 (83.4)	2785 (93.4)	2137 (89.9)	1266 (91.7)	1114 (89.8)	1367 (90.4)	843 (90.7)	489 (92.2)	673 (88.3)	538 (89.2)	295 (88.9)	309 (92.0)	246 (95.0)	363 (93.3)	281 (91.8)
1人暮らし	2724 (100.0)	2081 (100.0)	3053 (100.0)	2378 (100.0)	1380 (100.0)	1241 (100.0)	1513 (100.0)	709 (100.0)	541 (100.0)	782 (100.0)	603 (100.0)	332 (100.0)	336 (100.0)	259 (100.0)	388 (100.0)	306 (100.0)
2人	637 (51.8)	567 (58.8)	575 (54.2)	350 (62.2)	350 (55.7)	312 (68.4)	263 (51.7)	195 (30.4)	169 (33.9)	198 (29.5)	171 (31.0)	87 (26.7)	78 (25.2)	67 (27.2)	63 (19.2)	54 (17.4)
3人	579 (47.1)	448 (46.5)	605 (52.2)	297 (47.3)	297 (47.3)	281 (65.8)	241 (47.4)	147 (22.6)	116 (23.2)	143 (21.3)	125 (23.2)	68 (23.4)	71 (23.0)	59 (24.0)	104 (31.0)	87 (31.0)
4人	485 (39.4)	359 (37.2)	461 (49.2)	189 (38.3)	283 (41.9)	195 (50.8)	185 (36.4)	142 (22.1)	108 (21.6)	124 (18.5)	98 (17.8)	38 (13.9)	56 (17.8)	45 (18.3)	61 (16.9)	58 (20.6)
5人	266 (23.2)	217 (22.5)	276 (30.2)	102 (20.7)	127 (20.2)	128 (29.3)	147 (36.4)	60 (9.3)	50 (10.0)	90 (13.4)	58 (10.8)	28 (10.5)	32 (11.3)	26 (10.6)	31 (11.0)	31 (11.0)
6人	251 (20.4)	168 (17.4)	278 (30.3)	113 (20.1)	69 (18.0)	95 (17.2)	89 (17.5)	49 (7.6)	27 (5.4)	55 (8.2)	36 (6.7)	27 (9.2)	33 (11.6)	29 (11.8)	42 (11.4)	32 (11.4)
7人	147 (11.9)	118 (12.2)	136 (15.6)	68 (11.6)	57 (10.8)	62 (14.2)	65 (16.0)	31 (4.8)	20 (4.0)	36 (5.4)	27 (5.0)	21 (7.1)	15 (5.0)	16 (6.5)	20 (6.5)	14 (5.0)
8人	67 (5.4)	37 (3.8)	66 (7.6)	13 (3.0)	34 (5.4)	23 (5.2)	21 (5.3)	13 (2.0)	3 (0.6)	11 (1.6)	14 (2.6)	7 (2.5)	9 (3.0)	2 (0.8)	6 (1.7)	2 (0.7)
9人以上	7 (0.0)	5 (0.0)	7 (0.8)	3 (0.0)	3 (0.4)	2 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	2468 (100.0)	1933 (100.0)	2740 (100.0)	2126 (100.0)	1259 (100.0)	1108 (100.0)	1356 (100.0)	639 (100.0)	498 (100.0)	663 (100.0)	535 (100.0)	294 (100.0)	308 (100.0)	245 (100.0)	361 (100.0)	279 (100.0)

住民一挙

世帯	埴市町		大野村		音代村		久慈市		山形村		野田村	
	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男性 (%)	女性 (%)

Q001 現在定期的に従事している仕事はありますか

ある	253 (80.1)	172 (74.1)	215 (58.3)	175 (63.9)	128 (65.0)	23 (82.5)	20 (63.3)	19 (77.1)	223 (76.9)	226 (74.9)	148 (63.8)	34 (77.3)
ない	63 (19.9)	60 (25.9)	154 (41.7)	89 (36.1)	69 (35.0)	6 (37.5)	11 (36.7)	87 (22.9)	67 (40.9)	71 (25.1)	84 (36.2)	10 (22.7)
合計	316 (100.0)	232 (100.0)	369 (100.0)	274 (100.0)	197 (100.0)	29 (100.0)	30 (100.0)	380 (100.0)	290 (100.0)	283 (100.0)	232 (100.0)	44 (100.0)
Q001_1 その仕事はどれに当たりますか	28 (11.2)	20 (8.6)	44 (12.2)	56 (20.4)	44 (22.8)	2 (6.9)	3 (10.0)	4 (1.1)	26 (9.0)	37 (13.0)	80 (34.5)	12 (2.7)
農業	38 (12.3)	25 (10.8)	7 (1.9)	1 (0.4)	0 (0.0)	7 (23.1)	1 (3.3)	12 (3.2)	10 (3.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.5)
漁業	15 (4.8)	14 (6.0)	3 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (1.1)	5 (1.7)	3 (1.1)	0 (0.0)	2 (0.5)
サービス業	31 (10.0)	22 (9.5)	41 (11.1)	33 (12.1)	21 (10.7)	4 (13.3)	3 (10.0)	48 (12.6)	42 (14.5)	14 (5.0)	18 (7.7)	9 (2.0)
専務職	8 (2.6)	6 (2.6)	20 (5.4)	12 (4.4)	9 (4.6)	2 (6.7)	1 (3.3)	15 (4.0)	13 (4.5)	7 (2.5)	6 (2.6)	4 (0.9)
公務員	25 (8.0)	18 (7.7)	14 (3.8)	9 (3.3)	6 (3.1)	1 (3.3)	1 (3.3)	44 (11.6)	24 (8.6)	11 (3.9)	6 (2.6)	0 (0.0)
製造加工・土木建築	78 (25.0)	51 (21.9)	35 (9.5)	23 (8.4)	23 (11.7)	3 (10.0)	2 (6.7)	93 (24.5)	71 (24.5)	84 (36.2)	12 (5.2)	3 (0.7)
その他	41 (13.0)	30 (12.9)	47 (12.7)	29 (10.6)	25 (12.7)	4 (13.3)	5 (16.7)	54 (14.2)	37 (12.4)	35 (12.4)	28 (12.1)	2 (0.5)
合計	251 (100.0)	172 (100.0)	214 (100.0)	173 (100.0)	128 (100.0)	23 (100.0)	30 (100.0)	290 (100.0)	223 (100.0)	226 (100.0)	148 (100.0)	34 (100.0)

Q002 一緒に暮らしている家族はあなたを合わせて何人ですか

1人暮らし	31 (9.8)	15 (6.5)	38 (10.3)	27 (10.0)	24 (12.1)	1 (3.4)	4 (12.5)	2 (0.6)	25 (9.0)	26 (9.4)	30 (13.0)	2 (0.5)
それ以上	286 (90.2)	217 (93.5)	303 (83.3)	243 (89.7)	175 (87.9)	28 (96.6)	28 (93.3)	340 (91.4)	265 (91.4)	261 (92.6)	201 (87.9)	42 (95.5)
合計	317 (100.0)	232 (100.0)	370 (100.0)	274 (100.0)	199 (100.0)	29 (100.0)	32 (100.0)	380 (100.0)	290 (100.0)	285 (100.0)	231 (100.0)	44 (100.0)
Q002-1 家族人数	2 (0.7)	1 (0.5)	1 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	2 (0.7)	4 (1.4)	1 (0.4)	0 (0.0)
1人	54 (17.3)	53 (22.8)	76 (20.6)	46 (16.8)	38 (19.6)	7 (24.1)	5 (15.2)	94 (24.8)	79 (26.8)	68 (23.7)	51 (22.2)	13 (3.0)
2人	88 (27.8)	62 (26.7)	87 (23.6)	48 (17.5)	41 (20.6)	12 (40.0)	8 (24.2)	85 (22.4)	60 (20.7)	63 (22.1)	48 (20.8)	9 (2.0)
3人	57 (18.3)	38 (16.4)	53 (14.4)	39 (14.2)	26 (13.1)	3 (9.7)	2 (6.2)	67 (17.6)	48 (16.2)	38 (13.3)	7 (3.0)	7 (1.6)
4人	36 (11.4)	18 (7.8)	26 (7.1)	17 (6.2)	13 (6.6)	5 (15.7)	4 (12.5)	33 (8.7)	31 (10.7)	33 (11.6)	4 (1.7)	5 (1.1)
5人	33 (10.4)	23 (10.0)	33 (9.0)	23 (8.4)	16 (8.1)	4 (12.5)	4 (12.5)	40 (10.8)	30 (10.4)	29 (10.3)	15 (6.3)	4 (0.9)
6人	23 (7.3)	16 (7.0)	16 (4.3)	11 (4.0)	16 (8.1)	2 (6.2)	2 (6.2)	12 (3.2)	8 (2.8)	13 (4.7)	12 (5.2)	4 (0.9)
7人	8 (2.5)	4 (1.7)	10 (2.7)	7 (2.6)	3 (1.5)	3 (9.7)	2 (6.2)	3 (0.8)	3 (1.0)	4 (1.4)	4 (1.7)	0 (0.0)
8人	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
9人以上	283 (90.0)	215 (93.0)	330 (90.0)	240 (88.0)	174 (87.4)	28 (93.3)	28 (87.5)	337 (89.2)	263 (89.9)	260 (92.6)	200 (87.4)	42 (95.5)
合計	317 (100.0)	232 (100.0)	370 (100.0)	274 (100.0)	199 (100.0)	29 (100.0)	32 (100.0)	380 (100.0)	290 (100.0)	285 (100.0)	231 (100.0)	44 (100.0)